

ニッポン ドクター和の 臨終区巻



長尾和宏（ながお・か
ずひろ）医学博士。東
第 兵 二 庫 長 外 来 診 療
京 医 大 卒 業 後、大 阪 大 第 二 内 科 入 局。1995 年、
庫 県 尼 崎 市 で 長 尾 ク リ ニ ッ ク を 開 業。外 来 診 療
ら 在 宅 医 療 ま で 「 人 を 診
る 総 合 診 療 を 目 指 す。
近 著 「 薬 の や め ど き 」 は い
ず れ も ベ ス ト セ ラ ー。関
西 国 際 大 学 客 員 教 授。

因果関係はわかりませんが、寝込んだのはわずか1週間あまり。ピンピンコロリと言えなくもありません。

市原さんは、7年前にS字結腸がんと手術。2年ほど前には自己免疫性脊髄炎と診断されました。脊髄とは背骨に通っている神経のことです。免疫システムが脊髄の中に異物を見つけたと勘違いし、攻撃することで炎

症が起こります。明確な原因は不明です。腰や背中がしびれ、痛むこともあり、思うように動きません。薬で痛みを緩和させるしかないのですが、悪化する

と排泄（はいせつ）も困難になります。

市原さんは上手に治療と付き合い合っていたようで、女優の仕事はセーブしていたものの、声優などで活動を続けられました。

か、どうか。

昔話とはすなわち「死の物語」の伝承であるとは私は考えます。かぐや姫が月へ行くということ。浦島太郎が竜宮城で暮らすということ。龍の子太郎の母親はなぜ龍になったのか。死を暗示し、世の無常を子供に教えずです。

今、わが国では死を見たことがないまま大人になる人が珍しくありません。医者や看護師にもそういう人は多く、終末期を診る医療現場は混乱するばかりです。『日本昔ばなし』の映像を小中学校でしっかり見せるだけでも、日本人の死生観は大きく変わるはず。学校の先生方、どうかよろしくご検討ください。

空襲体験のある市原さんはさらに、「戦争童話」を朗読する仕事も長年続けられています。

死とは何か、平和とは何かを表現し続けた、偉大な女優さんのことをいつまでも忘れられないしたいと思います。

90 女優 市原悦子



『まんが日本昔ばなし』のアニメが始まったのは、私が高校生の頃でした。部活と受験勉強に明け暮れた時期でしたが、時々、言いようのない残酷さを孕（はら）んだ物語を、つい夢中になって見ていました。

あの番組で7つの声色を使っていた女優の市原悦子さんが、1月12日に都内の病院で亡くなりました。享年82。死因は心不全とのことでした。

その1カ月ほど前に盲腸と診断されています。手術は行わず、薬で治療を終えて12月30日に退院。お正月は自宅を過ごし、1月5日に再び体調不良を訴え、別の病院に入院。7日までは会話ができていたそうですが、徐々に意識が混濁し、帰らぬ人となりました。

最後まで声には力が宿っていた